

日本国における新しい世界への参加

黒田インターナショナル

黒田 毅

東京裁判における戦勝史観における現在に対して、自己の明確な判断と決定は、自己の認識と判断においてこれらへの自己意見を世界へ提示する。

これらは是非を全ての現実に対して求め、他国判断における従属でなく、自己判断における世界への参加を行う。

誤りに対しては自己の反省を求め、事実の誤りに対しては、自己判断を提示する。

一つ考慮すべきは、中華人民共和国が、戦前の日本と全く同じ現実を有することである。

これは日本国が、中華人民共和国を救うことができるのである。これは、その友好関係を真実の絆として行うことができる。